

牟佐町内会新聞

第44号

発行日：令和7年1月1日
 発行：牟佐町内会
 責任者：町内会長
 田尻 祐二
 編集：電子町内会運営委員

年頭あいさつ 町内会長 田尻祐二

新年あけましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨夏は、厳しい暑さとの戦いがありました。防災面では、11月に大原排水機場の稼働がありました。大きな被災もなく一安心。お陰様で防災用土のうちも再準備できました。イベントにつきましては、みそづくりからスタートし、ほのほの文化祭、牟佐っ子ども教室、運動会、刑務所矯正展でのうどん・ぜんざい・「産地牟佐」イノシシ革製品等の販売、そして12月のもちつき大会等々、コロナ禍前と同程度の水準に戻って、とても賑やかに開催することができました。コロナ禍にあっては、その多くが中止を余儀なくされていたわけですから、よく辛抱したものだと思います。下水道工事も進みつつありますが、いよいよ矢津峠を越えて東岡山方面に汚水を送るためのポンプ場も建設着手となりました。



町内会会員世帯数は、昨年も戸数が増え、現在 1016 世帯となりました。より一層、住民同士の交流、参画の機会を大切にしながら、行政を含めた多様な団体との連携、協働で、引き続き課題解決に取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

アーチェリー中西絢哉選手 パリ五輪出場



昨夏のパリオリンピックにわが町内、地蔵地区在住の中西絢哉選手が出場し、アーチェリー混合団体で 5 位、男子団体で 8 位入賞を果たされました。この活躍により、県スポーツ特別顕賞、市人見絹枝スポーツ顕彰の特別スポーツ栄誉賞を受賞されました。試合がテレビで放映されましたが、緊張の場面でも落ち着いて平常心で臨んでいる様子で、強い精神力が感じられました。

中西選手の出場によりパリオリンピックがより身近なものとして感じられ、また次回 2028 年のロサンゼルスオリンピックでの活躍も期待されます。地元から熱いエールを送り続けたいですね！

もちつき大会を開催

12月1日(日)、「もちつき大会」を予定通り開催しました。「産地牟佐」にこだわった内容で、会場ではお餅と共に、シシ汁（黄ニラ入り）、ぜんざい、モクズガニ、はちみつ（ニホンミツバチ）等をおいしくいただきました。公民館は大賑わいでした。もちつきでは、92歳のSさんが、今回も普通についている姿は驚くばかり。もちつき体験の順番を待っている子どもに年齢を尋ねると、「10歳！」と。シニア世代から子ども会世代の親子や幼児まで一緒に杵を持つ光景に、地域コミュニティの素晴らしさを改めて実感しました。岡山市の担当課から取材に来ていた方からも高い評価の声が寄せられました。食材を提供いただいた方々、お手伝いくださった運営スタッフの皆さん、本当にありがとうございました。（町内会長）

